

ごとう通信

第110号

平成22年2月1日

今年の冬の特徴は、とにかく寒暖の差が大きいこと。心底冷える日があれば次の日は半袖になりたいほどの温かさだったり。いろんな年があります。皆さんも体調管理にはくれぐれも気を付けてください。

さて、先日、訪問診療であるアパートの八階に上がり、ふと下を見ると小学校では体育の授業のようでした。さすがに元気！半袖、短パンという体操着で校庭を駆け回っていました。やっぱり元気だなあなどと思いましたが見ていました。ところが、よく考えてみると、彼らの登下校は長袖長ズボン。僕は小学校に制服があったの

で一年中半ズボンでしたが、それだけでなく、小学生時代は長ズボンをはいたことがありません。中学に入学したとき、学生服の長ズボンをはいてとても気持ち悪かったことを覚えています。いつから小学生が長ズボンをはくようになったのでしょうか。

高齢になるとどうしても体温調整能力が落ちてきます。小学生だからこそ冬でも薄着をして外で走り回り、自分の力で温かくなった方が良いのではないのでしょうか。家にこもってエアコンの下でテレビゲーム、そんな小学生たちの体温調整機構はどうなっていくのか心配です。

僕も冬は苦手な方ですが、小学生時代、半ズボンで外を



歩いていると「子供は風の子だねえ」と知らないおばさんたちによく言われていました。いまや死語となってしまったのでしょうか。

常識？

社会にはいろいろな反応があります。確かに、基礎的な知識のない中で一般新聞やテレビで報道されると「そうなんだ」と感じるのは仕方のないことです。しかし、自分なりの尺度を持ってみていないとだまされて損をするということもあります。

例えば、「この薬を飲むと背が高くなります」といううたい文句があると思います。このとき、私たちはセンチから5センチくらい伸びるのかなあと想像してしまいますが、実際は